

活動1分析表

土徳文化により目指す一流の田舎

対象課題	次世代につなぐ地域の誇りの不足
活動内容	「もったいない」、「おかげさま」から一流の田舎、地域の誇り・本物の「土徳文化」を醸成するため、非認知スキルを高める教育を推進する。 【活動】 ・次世代育成プログラム ・SDGsワークショップ
活動成果	SDGs、エコビレッジの更なる深化、次世代に伝承、交流人口の増加や土徳文化の発信など
連携先	小中学校、高等学校、大学、PTA
活動に対する現状の評価と課題	家庭教育の不足



地域循環共生圏への貢献	【環境への貢献】 (環境負荷の減少、資源循環への貢献、自然環境保全、脱炭素貢献、など)	【社会への貢献】 (人のつながり、地域教育、文化の向上、人口流出の抑制、QOL増大、など)	【経済への貢献】 (新規産業の育成、資金流出の防止、地域内経済循環、地域内雇用創出など)
	昔ながらの手仕事を再評価することによって、自然との共生を意識することが期待できる。以下の事業の深化。 ・エコビレッジ部活動 ・森里川海の連携「マイクロプラスチック、海洋汚染抑制」 ・いのちの森をつなぐ次世代人材の育成「森の学校」「森の保育園」創設	魅力ある地域を発信することによって交流人口の増加が期待できる。また市民一人一人が地域に対する誇りを持つことができ、それが将来を担う人材育成に寄与することが期待できる。以下の事業の深化。 ・ふるさと教育推進事業 ・世界遺産合掌造り家屋の保存、茅場再生 ・学校間をつなぐ遠隔協働学習事業	伝統工芸品を磨き上げることや文化芸術を発信することによって、外貨の獲得が期待できる。以下の事業の深化。 ・桜ヶ池合掌造り家屋「かず良」での人材育成

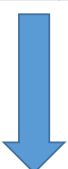


活動2分析表 新たな住民自治・小規模多機能自治

対象課題	急激な人口減少や高齢化、および依存型住民自治による機能の低下
活動内容	全ての住民参加による真の住民自治を再構築する。 なんと未来支援センターが行政とともに地域づくり協議会の運営を支援する。 【活動】 ・住民自治のための人材育成 ・各地区の取組発表会
活動成果	住民自治組織の自立向上、地域一体化による縦割り組織の解消、地域課題の解決、地域住民の意識改革など
連携先	なんと未来支援センター、地域づくり協議会
活動に対する現状の評価と課題	従来の住民自治の概念の克服



地域循環共生圏への貢献	【環境への貢献】 (環境負荷の減少、資源循環への貢献、自然環境保全、脱炭素貢献、など)	【社会への貢献】 (人のつながり、地域教育、文化の向上、人口流出の抑制、QOL増大、など)	【経済への貢献】 (新規産業の育成、資金流出の防止、地域内経済循環、地域内雇用創出など)
	本組織を媒体とした地域単位の活動により美化活動の推進が期待される。また環境保全の意識の高まりによってごみの減量化、資源化を促進することが期待できる。	自治組織を形成することにより、あらゆる世代が交流する機会が生まれ、地域の自然と地域文化や考え方の継承が期待できる他、地域への理解促進にともなった地域への愛着の醸成が期待できる。以下の事業の深化。 ・地域包括ケアシステム	同事業で抽出された課題を解決する際に新たな雇用が生まれることや課題解決に伴った地域住民の生きがいが増進されることが期待できる。以下の事業の深化。 ・オーガニック街道の整備 ・南砺ブランド商品開発支援事業



目標17
パートナーシップで目標を達成しよう

SDGsへの貢献 (ウェディングケーキモデルによる分類) 関係目標に印をつけ 関連を線で表示	目標6 安全な水とトイレを世界中に	目標13 気候変動に具体的な対策を	目標1 貧困をなくそう	目標2 飢餓をゼロに	目標3 すべての人に健康と福祉を	目標5 ジェンダー平等を実現しよう	目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう	目標10 人や国の不平等をなくそう
	目標14 海の豊かさを守ろう	目標15 陸の豊かさを守ろう	目標4 質の高い教育をみんなに	目標7 エネルギーをみんなに、クリーンに	目標11 住み続けられるまちづくりを	目標16 平和と公正をすべての人に	目標12 つくる責任 つかう責任	目標8 働きがいも経済成長も

活動3分析表 コミュニティファンド・南砺幸せ未来基金

対象課題	地域の課題解決と魅力の向上のための資金支援の不足
活動内容	地域課題や魅力向上のための資金の支援 企業や市民の寄付金・遺贈金、クラウドファンディング、休眠預金等を活用して資金を調達をする。 【活動】 ・地域課題解決などの事業支援 ・資金の調達
活動成果	住みよい地域の実現、まちづくり人材の育成、定住促進など
連携先	なんと未来支援センター、南砺幸せ未来基金、企業
活動に対する現状の評価と課題	自立的資金概念理解の促進



地域循環共生圏への貢献	【環境への貢献】 (環境負荷の減少、資源循環への貢献、自然環境保全、脱炭素貢献、など)	【社会への貢献】 (人のつながり、地域教育、文化の向上、人口流出の抑制、QOL増大、など)	【経済への貢献】 (新規産業の育成、資金流出の防止、地域内経済循環、地域内雇用創出など)
	環境に配慮した事業へ支援することによって市民に環境保全への意識付けを行うことが期待できる。以下の事業の深化。 ・森林資源エコシステム構築事業 ・新たな暮らし方の提案「エコビレッジ住宅ゾーン事業	ファンドの資金援助によって課題解決が促進されることが期待され、暮らしやすい社会の構築に貢献する。以下の事業の深化。 ・世界遺産合掌造り家屋の保存、茅場再生	地域貢献商品化への投資など、あらゆる人のチャレンジについて経済的な支援を行い、地域経済の活性化及び生きがいの醸成への貢献が期待される。以下の事業の深化。 ・空き家活用型しごとの場創出支援事業 ・クリエイター育成マッチング事業 ・なんとポイント事業

